

所属名	岐阜県立三光園	所属長名	小森 真哉
主目標 利用者の個性を尊重した個別支援計画の実施とともに、きめ細やかなサービス提供に努め利用者の満足度につなげる。また障害者支援施設としての機能を地域福祉に活かす。			
重点事業 ① 個別支援計画に基づいた適切な支援につながるよう、サービスの検証、修正、評価等を行い、質の向上に努める。 ② 利用者とのコミュニケーションを重視し、利用者の意思を尊重した良質なサービスを提供する。 ③ 多様な利用者ニーズに対応できるよう介護技術や障がい特性の研修を実施し、専門性の高いサービスを提供する。 ④ 地域とともにできること、福祉施設としての機能を活かし、地域の福祉ニーズに応える。			
チーム目標（①③④） <u>経営グループ</u> ・利用者の重度化・高齢化・虚弱化が進む中、入院・通院等、医療との連携が重要となっている。日常の適切なケア・早期発見・早期受診に努め、利用者の心身苦痛の軽減、入院日数の短期化等を図り、利用率の維持に努める。 ・施設の老朽化に伴い、設備・備品の破損・故障等が増えている。利用者支援を安全に実施し、かつ職員の支援が円滑に進むよう、随時、県や業者と相談・調整を行い、随時修繕に努める。 ・在宅サービス（短期入所・日中一時支援）については、感染対策を講じながら、サービスを必要とされている利用者・家族のセーフティネットとなるよう、サービス提供に努める。 ・面談やストレスチェックを通して、職員の心身状況を把握する。特に、メンタルヘルケアにおいては職員の人材確保・人材育成の面からも重要であるため、内外部の社会資源を活用し必要なケアに努める。			
チーム目標（①②③） <u>南フロアグループ</u> ・障害の重度化やライフステージに応じた個別支援計画を作成し、誰もが希望の持てる生活を送れるよう支援します。個別支援計画の作成の際には利用者が参画し、意見等を丁寧に聞き取りながら取り組みます。 ・対応の難しい利用者には継続的にケース検討を行い、統一した支援の実施や職員の悩みを軽減するとともに、医療機関等、多職種と連携をしながら、ご本人やご家族が望む生活が継続できるよう支援します。 ・研修等を通じて認知症やLGBTQ+の理解を促進し、多様性を尊重したサービスを提供します。 ・地域移行（施設移行）を望む利用者に対しては、移行に向けた情報収集や見学等を行い、福祉施設としての役割を果たせるよう努めます。			
チーム目標（①②③） <u>北フロアグループ</u> ・利用者の個性を尊重し、利用者本人が個別支援計画を意欲的に取り組めるよう支援する。会議録や日誌の充実を図り、職員間で情報共有・連携し、統一した方向性を持った支援を実施する。 ・重度・高齢化に伴い医療との連携を密に図りながら、本人やご家族が望む生活が継続できるよう支援する。必要に応じ施設移行についての情報提供を行い、福祉施設としての役割を果たすよう努力する。 ・介護技術向上や福祉機器活用のための研修のほか、障害特性の多様性について理解し、利用者・職員とも安心・安全な生活や支援が提供できるようにする。			

※チーム目標の（ ）内には、「重点事業の①」などと、関連する事業名を記載すること。